

2017年12月1日～2021年3月31日の間に 当科もの忘れ外来を受診された方およびご家族の方へ

—「COVID-19 蔓延に伴う社会活動制限が認知症患者に与えた影響」へのご協力のお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学神経内科学 講師 久徳弓子
研究分担者 川崎医科大学神経内科学 教授 砂田芳秀
川崎医科大学神経内科学 教授 三原雅史
川崎医科大学附属病院 臨床心理センター 臨床心理士 安田万里子
川崎医科大学附属病院 臨床心理センター 臨床心理士 谷英俊
川崎医科大学附属病院 臨床心理センター 臨床心理士 赤松祐美
川崎医科大学附属病院 臨床心理センター 臨床心理士 吉武亜紀
川崎医科大学附属病院 患者診療支援センター 医療ソーシャルワーカー 三宅佳花
川崎医科大学附属病院 患者診療支援センター 医療ソーシャルワーカー 中畑海咲

1. 研究の概要

COVID-19 の蔓延にともなう認知症患者さんの活動性の低下と認知機能低下の進行の関連について、社会活動の制限の観点から検討を行います。

2017年12月1日～2021年3月31日に当科もの忘れ外来を受診された患者さんについて、COVID-19 蔓延にともなう生活状況や移動制限による変化、神経心理検査結果について後方視的に検討します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2017年12月1日～2021年3月31日の間に川崎医科大学附属病院脳神経内科もの忘れ外来を受診された方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2021年12月31日

3) 研究方法

2017年12月1日～2021年3月31日の間に当科もの忘れ外来を受診した方で、研究者が診療情報をもとに当科外来にて聴取した臨床情報、生活状況や社会状況、当科外来受診状況の変化、COVID-19 蔓延の影響についてのアンケート結果、神経心理検査結果、画像所見と、認知症の重症度や進行の程度、BPSD(認知症の行動・心理症状)への影響について、COVID-19 蔓延前の臨床情報と比較検討します。

4) 使用する情報の種類

情報:年齢、性別、家族歴、病歴、生活状況や社会状況、COVID-19 蔓延の影響についてのアンケート結果、

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から 5 年間、川崎医科大学神経内科学教室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2021 年 8 月 31 日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 脳神経内科

氏名:久徳弓子

電話:086-462-1111 内線 27507(平日:9 時~17 時)

ファックス:086-464-1027

E-mail:kutoku@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。研究をするために必要な資金をスポンサー(製薬会社等)から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。